

校長室だより

令和2年7月29日 No23

大田区立入新井第五小学校

校長 岡野 範嗣

●●●● 夏とは思えない涼しさ ●●●●

今朝の気温は23℃。登校してくる児童を見ていると、高学年の女子などは、薄い上着を羽織ってくる子も珍しくありません。7月末だというのに梅雨も明けず、今一つ、気持ちが盛り上がらない日が続きます。それでも、今日10頃発表された週間天気予報では、1日(土)ぐらいから、晴れマークが続いており、いよいよ週明けには梅雨明けとなりそうな気配がしてきました。楽しみにしている夏休みまで、あと少しの辛抱です。子どもたちには、しっかり勉強のまとめをし、目の前の大きな楽しみへのワクワク感を高めてほしいと思います。



●●●● 曇り空でも、子どもは楽しそう ●●●●

子どもたちは休み時間が大好きです。すごい勢いで、校庭に出てきた子どもたちに「ちょっと雨降ってるけど、遊べますか?」と聞かれたので、「霧雨だから、遊んでいいよ」と答えるよ、「イェー」といって、元気に走り去っていきました。今日は涼しいので汗をかく子もおらず、みんな仲良く走り回っていました。

今後、梅雨明けして気温が上昇した時のことを考え、学校では20分休みと昼休みの遊び方について以下のように決めました。いずれも、**管理職の判断の下、決定いたします。**

- 1 WBGT 計で数値が危険領域に入った場合、中止の判断をします。この場合は、教室で静かに過ごさせるようにします。
- 2 天気がよく気温は高いが、危険領域ではない。しかし、20分間走り回ると心配というレベルの場合、前半10分を2・4・6年生、後半10分を1・3・5年生が遊ぶ時間とします。
- 3 曇り気味で気温がそれほど高くない場合は、いつも通りの20分休みとします。



●●●● 8 / 7 (金) 終業式の日に通達表を渡します ●●●●

一学期の成績について、お伝えします。令和2年度1学期の通知表は、8月7日(金)に、各担任からお子さんにお渡しします。今学期は、本格的に授業が始まったのが、6月後半からなので学習した内容も、本来学ぶべき内容の半分程度であり、十分な根拠に基づいた評定(大変よい・よい・もう少し)を出すことができません。したがって、1~6年すべての学年で、通知表の右半分にあたる文章による記録と所見での評価を行い、左半分の評定部分(学習のようす)は斜線を引かせていただいております。あらかじめ、ご了承くださいませようお願い致します。なお、6~8月に学習した内容についての評定は、2学期の学習の評価に加味して評定をお出ししますので、ご承知おきください。

学習のようす		1学期	2学期	3学期
教科	評価の観点	大変よい	よい	もう少し
	知識・技能			
国語	思考・判断・表現			
	主体的に学習に取り組む態度			

●●●● 8月の予定について ●●●●

例年と異なるため、一応、確認をさせていただきます。

- ① 1学期の給食最終日は8月6日(木)です。この日は、午後まで授業があります。
- ② 1学期の終業式は8月7日(金)です。この日は午前授業で、1学期の最終日となります。
- ③ 夏季休業日(夏休み)は、8月8日(土)~8月23日(日)までの、16日間です。この間、学校主催の「水泳指導」や「夏のわくわくスクール」は、コロナウイルス感染予防のため、今年度は実施いたしません。
- ④ 2学期の始業式は8月24日(月)ですので、お間違えの無いようにお願いします。この日は、給食なしの午前授業で下校となります。
- ⑤ 2学期の給食の始まりは、8月25日(火)です。この日から午後授業が始まります。

●●●● 2学期 9月の保護者会について ●●●●

こここのところの感染者増加を受け、密を避ける意味から9月の保護者会を中止とさせていただくことといたしました。保護者会でお話する内容(2学期の行事予定・2学期の学習予定・その他)については、9月初旬にお子さんを介して資料をお配りしますので、内容をご確認ください。詳しいお知らせは、後日、配布いたします。



●●●● 夜の街を上回り、家庭内感染が最多に ●●●●

ドキッとする見出しですが、私たち学校としては、一番警戒する事態となっています。直近一週間の東京の感染者の内訳は、家庭内感染が212名、夜の街関係が200名、会食が101名、職場が94名、施設内が45名、その他が116名と報道されました。鼻・口からの感染が多いことを考えると、ここに挙げた職場内の感染や飲み会等を含む会食・密閉度の高い施設内から発症し、家庭内に持ち込む形で感染が広がるという構図なのでしょう。無症状の陽性患者も多いとされ、見えない敵との戦いは、今後も非常に神経を使うこととなります。クラスターも、全国で550件とあり、いよいよ身近に迫ってきた感は否めません。「細心の注意を払い、自分がならなければ、他人に移すこともない」というセオリーにのっとりた行動が求められる状況です。入五小の子どもへの感染がないよう、まずは足元から、しっかり感染を予防していきたいと思っております。各ご家庭のご協力を、併せてお願いするところです。